

沖縄における植栽基盤整備マニュアルについて

(財) 海洋博覧会記念公園管理財団

研究第二課長

◎西銘 宜孝

研究第二課

○宮城 好二

1. 目的

公園・道路の植栽木を健全に育成するためには、植栽基盤整備が欠かせない。沖縄県内では、設計から管理までをまとめた「おきなわ緑の道しるべ・沖縄道路緑化技術指針（1996 年、沖縄総合事務局監修）」や「沖縄県道路緑化基本計画（1997 年、沖縄県監修）」等のマニュアルが活用されているが、植栽基盤に関する記載は少ない。また、全国版の「植栽基盤整備技術マニュアル（2009 年、国土交通省監修）」が刊行されているが、沖縄の環境に即したものではない。このことから、既存植栽基盤の現状の把握を行い、その課題を整理し、樹木を健全に育成するための植栽基盤整備マニュアルを作成することを目的とする。

2. 内容

(1) 既存知見の収集・整理

国内における植栽基盤整備及び管理に関する既往マニュアル等の内容を確認し、現状の問題点、課題の把握を行い、沖縄の独自性に配慮した植栽基盤整備マニュアルの策定のための、基本的考え方の整理と課題の抽出を行った。

(2) 緑地概況調査

沖縄本島内の 64 公園において緑化木の生育状況を確認し、植栽基盤上の課題を整理した。そのうちの 14 公園において大型検土杖を用いた土層状況把握と土色判定、土性の判定、乾湿の判定、土壤貫入計による土壤硬度の把握を行った。

(3) 詳細調査

沖縄本島内の 2 公園 5 地点（糸満市・豊見城市）において掘削による植栽基盤ならびに植鉢内の根系、土壤物理性、土壤理化学性などを確認した。

(4) 植栽基盤整備マニュアル作成

(1) ～ (3) の結果より沖縄の特異性に配慮した植栽基盤整備マニュアル案を作成し、道路や公園等を所管する国や県、植栽基盤整備に関係する有識者等による委員会を開催し内容の吟味し、植栽基盤整備マニュアルを作成した。

3. 結論

平成 20 年度から平成 22 年度までに、既存知見の収集・整理や緑地概況調査、詳細調査等を実施し、今回、沖縄県内の植栽基盤整備技術の向上に寄与するべく、沖縄県の特異性に配慮した植栽基盤整備マニュアルを作成した。

4. 今後の問題点

- ・植栽基盤整備マニュアルの印刷、頒布、講習会や実習等を通して、公園等を設計・管理を行う発注者、受注者、そして一般へ普及していく必要がある。
- ・植栽基盤整備技術は、今後さらに進展していく事が予想され、新規技術や知見等による反映させ随時改訂をしていく必要がある。